

ダイワ・インド株式オープン – ガンジスの恵み – 最近の運用状況と今後の見通しについて

2017年1月23日

■足元のパフォーマンス推移

2016年11月8日（現地、以下同様）にモディ首相は500ルピー札と1,000ルピー札の旧紙幣を回収し、新紙幣を発行することを発表しました。株式市場はいったん約8.1%下落しましたが、新紙幣発行による現金不足解消によって国内需要が回復することを織り込みつつあり、1月20日までに2016年11月21日の安値から約6.1%上昇しています。

■2017年の好材料

現金不足の解消に加えて、2017年のインド株式市場には3つの大きなポジティブな要因があります。

まず、共通間接税GSTの導入です。これまで地域で分断されてきたインドの経済活動を統一する大きな効果があると言われています。複雑な税制や書類作成負担などが州をまたいだ物流を大きく阻害してきましたが、GSTの開始によりインドは本物の巨大市場に生まれ変わります。GDP（国内総生産）成長率を最大1.7%押し上げる効果が試算されています。

次に可処分所得の増加です。モンスーンの十分な雨による豊作で農村部、公務員の賃上げやインフレの沈静化、金利の低下などによって都市部が恩恵を受ける見込みです。例えば、公務員については16.5%の賃上げが承認され、さらに6.5%の追加賃上げが検討されています。

最後に、十分な政府支出の拡大余地です。財政状態が健全であることから、投資サイクルの回復を後押しするような政府支出の増大が期待できます。

■好材料を踏まえた投資見通し

「ダイワ・インド株式オープン – ガンジスの恵み –」は、中長期的な成長性に着目して銘柄選択を行い、幅広い投資機会の獲得を目指して業種、企業規模の分散を図っています。2017年の好材料に関しては、GSTの導入による商圈の拡大から恩恵を受けるとみられる中堅企業に特に注目しています。

インド株式市場の推移



※MSCI インド指数は、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所:ブルームバーグ)

2017年のインド株式市場のポイント

3つの大きなポジティブな要因

- インド国内の共通間接税であるGSTの導入
- 実質可処分所得の増加
- 十分な政府支出の拡大余地

基準価額の推移



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

ダイワ・インド株式オープン – ガンジスの恵み –

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- インド企業の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざします。

ファンドの特色

1. インド経済の構造変化の中で高い成長が期待できるインド企業の株式^(注)に投資します。
(注)「株式」…DR(預託証券)を含みます。
 - 銘柄の選定にあたっては、中長期的な成長性を判断するため、業界動向、個別企業の競争力、経営戦略、技術力等に着目します。
 - ポートフォリオの構築にあたっては、幅広い投資機会の獲得をめざし、業種、企業規模の分散を図ります。
 2. インド企業の株式の運用の一部は、SBI Funds Management Private Limited の助言を受け、ダイワ・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッドが行ないます。
 3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - ・マザーファンドは、「ダイワ・プレミア・インド株マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.24%(税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.8144% (税抜 1.68%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」に記載しています。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡する「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和投資信託** フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00)

当社ホームページ

▶ <http://www.daiwa-am.co.jp/>

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会